

図書館だより



図書館
ウェブサイト

市内図書館の開館時間 10:00～18:00 ※古市[～17:30]、中央[平日のみ～20:00]
全館休館：毎月最終日 ※例の場合は翌日、12月を除く
ブックステーションはびきのコロセラム ☎072-937-7210 開館(休)日 13:30～16:30

市内図書館	おはなし会	特集テーマ
中 央 ☎072-950-5501 (月)休館	4日(土) 18日(土) 12日(月) 26日(月) 18日(土)	11:00～ 14:00～ 15:00～ 一般・やってみよう！大人の自由研究／児童・夏がきた 特集1・絵本作家きたむらさとし 特集2・ずかん・じてんを楽しむ
陵南の森 ☎072-952-2750 (金)休館	5日(月) 12日(月) 25日(土) 18日(土) 19日(月) 小さい子向け 19日(月) 少し長い話を聞ける子向け 8月2日(月) こわいおはなし会	11:00～ 15:00～ 11:00～ 11:30～ 11:00～ 一般・映像化された本特集 児童・ひんやり！？あつめました
東 部 ☎072-950-2002 (金)休館	8日(木)	10:30～ 宇宙への道
古 市 ☎072-958-0050 (月)(火)休館	3日(金) 大人向けおはなし会 大人に語る怪談「明かりをくれ！」(素話) ほか	13:30～ 一般・再び 学ぶ。／児童・つくってみよう！
羽曳が丘 ☎072-958-8653 072-957-5553 (金)休館	11日(土) 25日(土)	11:00～ 涼しく過ごそう！
丹 比 ☎072-937-2355 (金)休館	4日(土) たなばた☆おはなし会 丹治はやブラサ集会所 大型紙芝居・絵本など	14:00～ 夏休みに役立つ本

まんげきょうをつくろう【陵南の森図書館にて】

※申込は6月28日(日)から、詳しくはウェブサイト参照

【とき】7月20日(月) 1部 10:30～/2部 14:00～

【定員】各回 10人 ※図書館利用カード要

工作『ハニワ DE 貯金箱』

※申込受付中、詳しくはウェブサイト参照

【とき】7月23日(木) 14:00～16:00(13:30開場)

【場所】LIC はびきの2階パソコン教室

夏休みこども一日図書館員

【対象】図書館利用カードを持つ小学3～6年生

【定員】各図書館2人

【申込】7月18日(土)10:00～各図書館へ来館

陵南の森	8月3日(月)・4日(火)・5日(水) 9:30～11:30
中央	8月5日(木)・6日(金)・7日(土) 9:45～11:30
丹比・東部	8月1日(土) 13:30～15:30
羽曳が丘	8月4日(火) 13:30～15:30

夏休み！ちょっとこわいおはなし大会

【中央図書館多目的室にて】

<主催>羽曳野子ども文庫連絡会・おはなしの森

【とき】7月25日(土) ①13:30～(小さい子向け)

②14:00～(小学校低・中学年向け)

③14:40～(小学校高学年～大人向け)

～図書館で映画を楽しもう～

わくわくドキドキ★ムービーシアター

①8月6日(木)『ドクター・ドリトル』
②8月9日(日)『ターボ 特別編』
③8月20日(木)『ゴーストバスターズ/フローズン・サマー』
④8月23日(日)『小さい魔女とワルブルグスの夜』

各回上映 14:00～(開場 13:30～)

【場所】LIC はびきの映像セミナー室

【対象】図書館利用カードを持つ人(先着 45人)

【申込】①②7月8日(火)～、③④7月17日(金)～

中央図書館窓口・電話・ウェブサイトにて

絵本作家きたむらさとし氏

ワークショップ&講演会【8月1日(土)】

①午前の部 10:30～12:00(ワークショップ) 20人

②午後の部 14:00～16:00(講演会) 80人

【対象】①小学生 ②小学生以上

(小学生は保護者同伴)

【場所】LIC はびきの3階 音楽実習室

【申込】(緑色の図書館利用カードを持つ人) 7月1日(土) 13:00～、(一般) 7月10日(金) 10:00～、中央図書館へ来館か電話

ブックステーションはびきのコロセラム

【8月4日(火)一日開館】

10:30～16:30(工作教室 13:00～14:30)

※7月28日(火)は臨時休館

<市内図書館の休館日> 7月29日(水)

返却はブックポストへ



市民の皆様は、すでにご存じの方も多いと思いますが羽曳野市市民生活部人権推進課から男女共同参画啓発冊子『きらり HABIKINO』が作成されています。その冊子の一つに『だれもが自分らしく』があり、その表紙には「あなたの性別は何ですか?」と書いてあります。

生まれながらにしてカラダが男性だから男、戸籍や住民票上の性別が女性だから女

そんな風に答える人と、そうではない答える人がいます。そして、そうではない答える人が自分の性のことを自由に話せる世の中であるとは

まだまだ言えません。

そこで、性の多様性について少しでも理解してもらえたらいいなという願いでこの冊子は作られました。

冊子の中では「性」とは何だろうと問いかけています。性の要素は次のように複数あり組み合わせも自由です。

・生物学的な性：カラダの性が男性か女性か

・性認識：自分のところが自分自身の性別をどのように思っているのか

・性的思考：好きになる性や性的関心がどの性別に向いているか

・性表現：例えば服装やしぐさで自分をどのように社会的に表現したいか

これらの要素によって性のあり方

が多数派、少数派に分かれ少数派の人のことを「セクシャルマイノリティ」と表現されています。

人間の性は単純に分けられるものではありません。多くの人はカラダの性と心の性が一致していますが同性を好きになる人もいます。セクシャルマイノリティは周囲の理解を得られずに悩んだり偏見や差別を受けて苦しんだりすることも少なくありません。

私達は誰もが自分らしく生きる権利をもっています。人間の性について様々な考えを理解し正しい知識を持つことが自分らしく生きることのできる社会に近づく事かもしれません。

はびきの しんげんけいはつすいしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会